

# 飯南

## いいなん

- 新年のご挨拶
- 平成23年度一般会計補正予算 ● 議会全員協議会の議題ほか
- 一般質問に 8 人が登壇
- 決算審査特別委員会報告 ● 庁舎問題調査特別委員会報告
- 採決の結果 ● 討論 ● 議会活動報告
- 常任委員会報告
- 明日を拓く 林業を担う人材を育てる

**飯南町議会** 島根県飯石郡飯南町下赤名890番地  
飯南町議会事務局 TEL:0854-76-2190 FAX:0854-76-2867

**第28号**

平成24年1月20日



### おいおい、これはやったかも～

飯南町は昔から良質な和牛の産地で有名です。今、島根県は今年10月の長崎全共を目標に、各クラス(区)で和牛の育成に力を入れています。町は7区(若雌・去勢肉用牛)で県代表を目指しています。近隣地区と覇を競う厳しいものですが、町内候補牛の5頭とも県の間接検査では良い結果が出ており、この日の巡回指導でも好結果が出て、カメラ前でも我慢できずニッコリ笑顔に。今年の町づくりは「人」「物」「金」そして「牛」でいきたいですね。





平成23年  
**12月**定例会  
12月定例会は、12月13日から  
12月22日までの10日間の  
日程で開きました。



本定例会では一般質問に8名が登壇。その内T P Pに関する質問を4名、庁舎に関する質問を3名が行った。  
T P Pに対しては「震災復興の妨げになる」「反対の立場を鮮明にし国の譲歩を引き出せ」「本町はどのような影響を受けるのか」「どのような状況になる」と独自政策で未来へ布石を打て」と、それぞれの考えを主張した。  
庁舎に対しては、「新庁舎建設検討委員会の答申に関する新聞報道に私見が掲載されたことへの憂慮」「地域の核となる支所の充実」「町長の建設に向けた決意」を問う質問がなされた。  
会期中の全員協議会において、玄米を特殊技術により加工する工場が本町に進出する意向であることが明らかにされた。

## 12月定例会で可決された主な議案

- 認 定** 平成22年度飯南町各会計歳入歳出決算認定1件
- 承 認** 飯南町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例1件
- 条例関係** 飯南町暴力団排除条例の制定など4件
- 補正予算** 平成23年度飯南町一般会計補正予算(第6号)など6件
- 契約締結** 平成23年度町道松本頓原線道路改良工事(交付金請負変更契約の締結など)2件
- 陳 情** 水稲採種事業に対する要望など2件

### 平成23年度 一般会計補正予算は

町道来島線雪崩防止事業、公営住宅設計委託費、公共土木施設災害復旧事業など

# 9,713万円増額

各 会 計		補 正 予 算 額	予 算 額
一 般 会 計		9,713万円	74億8,966万円
特別会計	国民健康保険事業	373万円	7億4,836万円
	介護保険サービス事業	114万円	3,445万円
	簡易水道事業	592万円	2億9,949万円
	下水道事業	295万円	4億1,971万円
病院事業会計		3,235万円	11億1,841万円

## 新年のご挨拶



飯南町議会議長  
那須 穂土 輝

新年あけましておめでとうございます。  
町民の皆様には、明るく希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年三月、未曾有の東日本大地震と津波、また福島原発事故に被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

さて、議会は飯南町発足以来懸案であった新庁舎について、庁舎問題調査特別委員会を設置し、検討を進めてまいりました。結論をこの号に別掲しておりますのでご覧ください。

本年は、中国横断道尾道松江線の開通を控え、観光や歴史の掘り起こしによる誘客、環境に優しい産業育成などに、町ぐるみで取り組む躍進の年であります。

町民の皆様にとりまして、この一年が実り多い年でありますように、そしてご健康、ご多幸を心からお祈り申し上げ年頭のご挨拶といたします。



## 議会全員協議会の議題

### <10月21日(金)>

- ①ササエキス事業について
- ②飯南町防災訓練の実施計画について
- ③アンテナショップの進捗状況について
- ④地域を支えるN P O法人の設立の状況について
- ⑤J A雲南肥育センター放射線セシウムに汚染された堆肥の処理について

### <11月22日(火)>

- ①J A雲南肥育センター放射線セシウムに汚染された堆肥の処理について

### <12月21日(水)>

- ①企業進出について
- ②平成24年産米の生産数量配分について
- ③J A雲南肥育センター事業見直しによる「しまね和牛里づくり事業」の今後の方策について
- ④J A雲南肥育センター放射性セシウムに汚染された堆肥の処理について
- ⑤志津見ダム水源地域ビジョンの策定について
- ⑥赤名川改修計画について
- ⑦飯南高校の1学年2学級維持に向けた魅力づくり対策に関する最終報告について

## 陳 情

道路をはじめとするライフライン等、公共事業推進に関する要望

(陳情者)  
飯南町下赤名877-1  
飯南町建設業協会  
会 長 正 木 喜代隆  
(審査委員会)  
教育経済常任委員会  
(審査結果)  
採 択

水稲採種事業に対する要望  
(陳情者)  
飯南町下赤名328-6  
飯南町水稲採種組合  
組 合 長 前 田 祥 宏  
(審査委員会)  
教育経済常任委員会  
(審査結果)  
採 択



## Q TPPに断固反対 A 反対立場を基本に



伊藤好晴議員

TPPに参加する事に大義は無い。影響は、農業・医療・金融・共済・労働・公共事業など、あらゆる



分野に影響を及ぼす危険性が高く、大震災、原発事故の復興に重大な障害を与える。  
農業を基本とする本町は、断固反対の立場を明確にすべきだ。

### 山崎英樹町長

TPPに参加すれば、日本の農業が大きな打撃を受けることが懸念される。県町村会も、県知事・県選出国会議員に対して、参加しない事を要望している。

私は、反対の立場を基本とし、今後、国で進められる関係国との協議を注視し、県や全国町村会などの関係機関等と連携して対応する。

## Q 放射能汚染対策は A 線量計は配備

伊藤議員

福島第一原発の事故で放出されたセシウム137は、中国国地方の山間部で25ベクレル程度とみられ、除染の必要はないとしている。

しかし、本町の住民の命と健康を守るため、線量計の配備やモニタリングポストの設置を緊急に考えるべきだ。

### 山崎町長

放射能汚染対策として、線量計を配備することを考えており、モニタリングポスト設置は県へ要望する。



堆肥の検査

## Q 汚染堆肥どうする A 国県の指導を仰ぐ

伊藤議員

汚染堆肥の処分は、平成24年1月に施行される特措法に一般廃棄物処理場で処理することが盛り込まれている。

都加賀のクリーンセンターで処理することが検討されているが、地域住民にきちんと説明する必要がある。

### 山崎町長

政府の方針によると、本町では都加賀クリーンセンターが最終処分場として考えられる。

地元の説明もせず、都加賀の皆様にはご心配をかけたこととお詫びする。今後、本町の状態を国県に伝え、指導を仰ぎたい。

## Q 介護費用の軽減は A 引き上げは不可避

伊藤議員

介護保険の利用料が1割負担と高いため、低所得者が必要なサービスを受けられない事態が発生している。総合事業を導入せず、必要なサービスを受けられることが重要だ。

ニーズ調査は全高齢者を対象に行い、介護給付費準備基金の取り崩しや一般会計からの繰り入れ等で保険料の負担軽減をすべきだ。

### 山崎町長

総合事業は、現在行っている事業で進める。

雲南広域連合としては、基金を活用するなど出来る限り抑制に努めるが、引き上げは避けられない。一般会計からの繰り入れは検討していない。



# 12月定例会 町政を問う 一般質問

## Q 林業振興の総合策は A 仕組みづくりが重要



熊谷兼樹議員

飯南町の資料から推計すると345億円の立木があり、そのうち200億円に相当する伐採可能立木が山に貯えられていると思う。

これを例えば年間2億円程度伐採搬出することにより、森林資源の循環システムを構築し、地域経済を活性化させたいが、町長の現状認識を聞きたい。

### 山崎英樹町長

本町の90%を占める森林は、多面的で貴重な資源である。

特に、経済波及効果を生み出すには森林整備が大切で、森林環境税の創設による森林事業予算の確保を町村会として政府へお願いしている。

森林資源の安定供給と有効活用を図るには、伐採、搬出、運搬、集積、利用の仕組みづくりが重要であり、現在研究している。

## 以下、一問一答の詳細

**Q** 県は平成24年4月から、森林経営計画制度を始め、本町でも森林情報を一元化する必要がある。その手段として、GISを利用することが有効だ。そのうえで持続的な林業振興を図るための森林プランナー養成が急務だが、町長の考えは。

**A** 各団体の造林事業は、個々に管理されており把握できていない。今後は関係団体とシステム構築を進めるが、GISの活用については、県の情報を確認しながら行う。

森林プランナーは、飯石森林組合に3名、内1名が飯南事業所で活動している。現場が相手の仕事であり、長期スパンで取り組むことが好ましく、森林組合とも協議して人材の確保を検討したい。



# 12月定例会 町政を問う 一般質問

**Q** TPPで国に要望を  
**A** 農家主体の政策で



長島正一議員

TPP問題は、単なる反対では少子高齢化が進む現状の打破にはならない。この機会をとらえ、国に対し強く政策要望すべきだ。

山崎英樹町長

TPP問題は単なる反対ではなく、政治責任が果たせるよう議論を深める。

複合産業の創造や農業の観光産業化による雇用の創出、また、集落営農や認定農家の育成など、農家に目を向けた政策を推進する。

**Q** 緑地公園の整備を  
**A** 関係者と共に

長島議員

尾道松江線の開通を前にし、道の駅とんぼら周辺の活性化にむけ、地元住民を中心に緑地公園再整備の検討が行われている。

森林セラピーのサブ基地にふさわしいとする専門家の評価もあるが、再整備の考えは。

山崎町長

道の駅魅力づくりと周辺環境づくりは、国道54号の交通量の減少が予想される中、対策は重要課題だ。

今後、地元住民による推進母体の体制づくりを進め、緑地公園の有効活用に向けたビジョンを作る。

飯南町ガイドマップ



**Q** 来年度重点施策は  
**A** 定住対策に力を

長島議員

国の財政状況は世界でも最悪と言われる中で、東日本大震災や原発事故が起き、復興予算は20兆円超と言われているが、当町への影響と来年度の重点施策を問う。

山崎町長

来年度に向け、平成23年度を下回らない概算要求を行っており、本町への影響は避けられる見通しだ。

定住対策に伴う住宅整備、広告塔としてのアンテナショップ、保険・医療・福祉の充実など、重点プロジェクトの推進を図る。

**Q** 6次産業の推進を  
**A** 積極的に推進

長島議員

農村再生に向けた6次産業化の手段として直売所をどう考えるか。

また、赤名の飯南町農産物加工施設の活用を図るべきではないか。

山崎町長

来年度重点項目として、産直市の魅力アップや広島アンテナショップの体制構築を進める。そのために、飯南町農産物加工施設の活用や6次産業化を積極的に進める。



飯南町農産加工施設

**Q** 住宅制度活用を  
**A** お好み住宅を検討

長島議員

頼原にある泉川団地のお好み住宅は、大きな成果を上げている。この制度を町内の各地区に適用出来ないか。

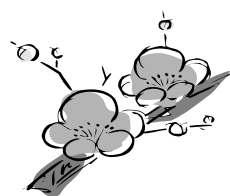
山崎町長

泉川の定住促進住宅建築により、頼原小学校の児童数の増加が見られる。この制度を全町に広げるための制度設計を考えた。

※お好み住宅

入居時に40才以下の夫婦で、同居親族の中に中学生以下の子どもがいる世帯で、25年以上居住することなどを条件に付した「定住促進賃貸住宅」のこと。

あらかじめ設定されパターンから希望する間取りの住宅を選択でき、25年住み続けることと持ち家として取得できる。



験できる山づくりを考え  
るべきだ。

山崎町長

生命地域飯南町にふさわしいまちづくりを推進するということから、森林セラピーや温泉・食などの地域資源を活用した滞在型観光商品の仕組みづくりは急務である。

こうした中、本町には素晴らしい自然林があり、関係団体による登山道の整備が進められてきた。

進入路の整備、安らげる空間づくり、地域ならではの物語づくりなどを意識した森林整備を行い、自然林を活用した観光振興を進めることが大切だと思っている。



**Q** 海外研修の創設を  
**A** 国・県事業を紹介

門 眞一郎議員

グローバル化に向け加速度的な変化が起こっている。このような変化に対応するためには、たとえ短期間であっても海外に出た経験を持ち、客観的に地域を見る目を養っていることが必要だ。

本町は人づくり事業に積極的だが、30代未満の参加者はまだだ。

次世代を育てることは今の世代の使命であり、若者の海外研修による人づくりに取り組むべきだ。



台北故宮博物館



山崎英樹町長

かつては青年の翼など、国県の事業や、旧町による独自事業により、若者中心に海外研修事業を実施していた。参加者は、地域を担う人材として活躍し、本町の活性化に貢献している。

飯南町発足後は、海外研修事業や国際交流事業を積極的に実施していないが、飯南高校では韓国や台湾への修学旅行を行い、国際感覚を身につけている。

社会経済情勢や住民ニーズが変わっていく中で、従来の方式が効果的なのか検証する必要がある。当面は、国や県が主催する事業について、町民の皆さんに情報提供し、参加を促したい。



青空市 ぶなの里

**Q** 自然林を観光に  
**A** 山林は観光の目玉

門 議員

中国横断自動車道尾道松江線は、平成26年度中に全線供用開始される。

国道54号は陰陽を結ぶ幹線であり、地域経済を支える道として多くの利益を享受してきたが、これがすべてゼロになるものとして経済を考え直し、通過型観光から滞在型観光への転換が急がれる。

本町には潜在的な観光資源が多く存在しており、特に森林セラピーと関連づけられた商品は、町のイメージ作りに力を発揮する。

町長は、町有林を伐採したまま放置するのではなく、飯南町を象徴する山の物語をつくり、観光事業を確立すべきだ。

また、我々は生活の一部として山菜やきのこを穫り、山と親しんできた。観光客が見るだけの山ではなく、本当の魅力を体



# 12月定例会 町政を問う 一般質問

**Q 来年度予算編成は1%減で編成**



小野 覚議員

山崎町長にとり2期目最後の1年だが、予算編成にあたり基本姿勢は。また、歳入見通しにある63億3000万円は確保できるのか。平成24年度の行政効率化と財政健全化に向けた具体的方策は。

山崎 英樹町長

私の任期最後の1年であり、これまでの取り組みを整理する年度と位置づけている。

平成24年度の歳入見通しは、町税や普通交付税など、一般財源の歳入見込みを47億6200万円とし、昨年度に比べ1%減で試算している。

これに国県支出金など特定財源をあわせると、一般会計は65億円前後で前年度より少なくなる見込みだ。財政健全化は、引き続き再点検しながらやっていく。

**Q 庁舎建設の決意は手順を踏んで**

小野議員

庁舎建設には位置の選定など難題はこれからだが、トップリーダーとしての決意は。

山崎町長

庁舎建設は法に基づいた手順がある。

議会、そして町民の皆様方の理解をいただかなければ進まない。実施計画等の策定を進めながら、理解いただけるように手順を踏んでいく。



**Q TPPの影響は66%減の8億円**



小野議員

町長はTPP参加に対し明確に反対の立場だが、参加した場合の農林業への影響を推計した中で、反対の世論を広げる努力が必要だ。公的医療保険、介護保険制度を危惧する意見があるが、影響をどう考えるか。

山崎町長

TPPの影響は、農水省の手法により算出すると、現在の農業生産額は24億円だが、66%減の8億円となる。自由診療の拡大については注視していくが、本町の医療は何か何でも守る決意だ。

以下、一問一答の詳細

**Q 建設用地は慎重に考えるべきだが、実施計画と同時に示すのか。**

また、24年度には議会へ議案提出があると思うが、問題点が相当ある。短時間の計画策定で町民に納得のいく説明ができるのか。

**Q 建設用地は計画の中に入るものであり、当然町民が納得いくよう努力せねばならない。**

**Q 本町は4つの地域で構成されており、本庁舎以外の核となる施設整備についても考慮すべきだ。例えば地域振興センター・防災センター・自治組織活動センターなどが考えられる。**

実施計画を提示する前にこのような整備計画が示されないと、町民は納得しないと思うがいかがか。

**A 支所機能の充実、4つ**

**Q 高校活性化体制は専任者で対応**

小野議員

飯南高校「きらりドリムアップ支援会議」の最終報告を受け、町長は行政報告で、横断的に取り組む体制を整備すると述べたが、具体的にはどのように考えているのか。

また、私は町長部局へ飯南高校の活性化支援のための特命担当職員をおく必要を述べてきたが、どう反映されるのか。

山崎町長

飯南高校支援についての最終報告では、推進組織が大きなポイントになる。取りまとめをするため、専任者を置きたいと思っている。



の地域の中心的施設整備は最も重要だ。庁舎内の検討、町民の方々の意見などを聞いて進めていく。

**Q 本町の後期基本計画に支所と公民館を一緒にする考え方があがるが、公民館本館の建設・教育委員会の位置づけ・生涯教育の場所などを総合的に考慮すべきであり、私は疑問に思っている。**

本庁舎建設の前に、このような基本的土台を議論し、後期基本計画と本庁舎建設との整合性を考えることが必要と思うがどうか。

**A まちづくりを拠点で進むのか、4つのゾーンで**

進めるのかということだ。過疎計画に公民館本館をイメージした生涯学習センターを入れていくが、どこのゾーンへ設置するかについて本庁舎とセツトで考えていくべきだ。町民のご理解をいただいて進めていく。



新庁舎建設検討委員会



# 12月定例会 町政を問う 一般質問

## Q バス路線維持は

## A 朝昼夜の9便を要望



安部 誠也 議員

尾道松江線の開通を控え、国道54号のバス路線維持が一番の問題であり、

住民の不安が大きい。アンケート調査などの結果をどう分析しどう判断しているのか。

## 山崎英樹町長

調査結果は、将来の利用を見越した存続希望が多数あり、バス事業者への要望材料として整理しているが、今まで通りに運行する考え方には隔たりがある。

三次市は三次を起点としての地域交通体系を考え、雲南市は自動車道にバス停を設置することを重視し、本町の考え方は基本的に違いがある。

国交省や県に対しては正式な要望をしていない。事業者には、現在28便運行しているところを、朝昼夜の9便を目標にし、両市とともに要望していく。

## Q 小水力発電推進を

## A 桧原町を目標に

安部 誠也 議員

本町として再生型自然エネルギーの利用拡大を図り、小水力発電を推進すべきだ。

小水力発電は、太陽光や風力よりも安定した発電量があり、しかも地域産業への波及効果が見込まれる。

一昨年、民間事業者による小水力発電の調査が行われ、数力所の適地があるという報告だったがその後の推移は。

私は、地域資源の活用による地域活性化が、温暖化対策の推進に結びつくと考え、小水力発電を中心にした、高知県桧原町のようにエネルギー自給率100%を目指すべきだ。

また、外国資本が河川の上流地へ水資源（水源地）を求めて山林を買い求めていると聞くが、本町は大丈夫なのか。

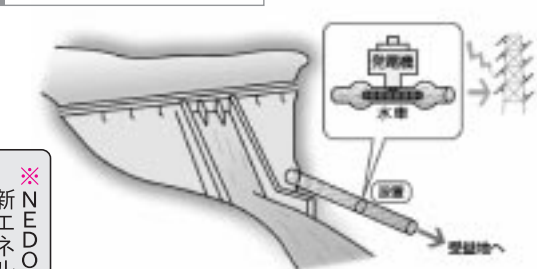
## 山崎町長

本町は、補助金を利用して小水力発電を進める計画であり、NEDOとの協議に入っている。

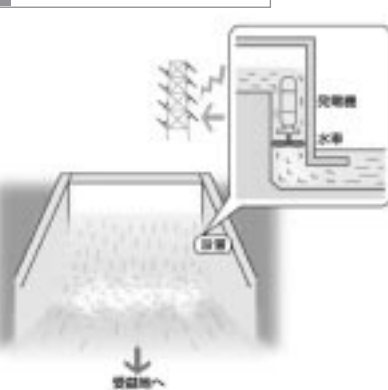
緑の分権改革を進める中で、水力も今後のエネルギー源の一つであり、地域産業という観点から

もNEDOからノウハウの提供を受ける。桧原町に追いつけ追い越せと思っており、理念を持って努めたい。外国資本による山林買収は、現在のところ本町では聞いていない。

貯水地の落差を利用して



用水路の落差を利用して



※NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）新エネルギーおよび省エネルギー技術などの開発をおこなう経済産業省所管独立行政法人

この外に、安部議員から次の2点について質問がありました。  
◆尾道松江線の開通を控え、食を通じた交通量の確保を図るべきであり、早急なB級グルメの指定と、集客力のある大手外食チェーンを誘致し、入込客を狙うべきだと町長に答弁を求めた。  
◆災害時の緊急情報伝達には情報を得るチャンネルは多い方が安心であり、エリアメールの導入、全町への防災行政無線整備、NHKラジオ放送の受信環境整備について町長に質問した。

## Q 監査委員の使命は

## A 注意喚起している



石原 敏郎 議員

私は、三セク（株）サプロ島根に対する監査を促してきたが倒産した。事故を未然に防ぎ、町の財産を守るための監査であるべきだ。町民の間にも、監査委員の任務に

## Q 答申に私見は問題

## A 委員全員が了解

石原 議員

税外債権であるサプロへの貸付金に関し、万全な措置を講ずるべきだ。また、税債権・税外債権に対する監査手法の違いは。

安部 朋次 議会選出監査委員

サプロ島根の倒産は、私も議員として支援してきた経過から遺憾に思っている。

私は新庁舎建設に反対だが、報道内容は別次元の問題であり、答申の実態を町内外に明確にすべきだ。

## 山崎英樹町長

非常に大切な問題であり「私見」という言葉には違和感がある。

副町長が事務局として整理しているので答弁させる。

## 景山登美男副町長

委員会には、新庁舎建設の基本理念など5点についてまとめていただいたが、建設用地について絞り込み困難となり、会長・副会長に一任された。

二人は町内バランスなどを協議し、1番が赤名地内、2番が頓原地内、3番が上島地内及び野萱地内とする答申案となった。

これを委員全員が了解したうえで最終答申としたものであり、有識者二人の私見ではない。

## Q 納得いく職員給を

## A 真摯に向き合う

石原 議員

町長は職員に「責任と誇り」と言っているが、町民には苛立ちと諦めが漂っている。町民へ対する愛情と謙虚な姿勢と感謝の念が欠けているのではないか。

また、地域に即した役割職員給与の見直しを期待するが、町長は職員組合にどう向き合うのか。

給与に見合う仕事をし、公僕としての責務を果たすのか、職員給与を力として町民と痛みを分かち合うのか、厳しい態度で飯南町の経営に当たるべきだ。

## 山崎町長

職員の平成23年度給与と期末勤勉手当は据え置くとしたことが、町民福祉の向上に向け真摯に向き合っていくことを確認している。

職務給・均衡・条例主義の三原則に基づく給料で職務にあたり、町全体の底上げを図っていく。私に対する指摘や、奮起を望むエールをいただいたが、十分反省し我が身をただし、町民の役に立つ役場づくりに努めていく。





第7回 12月定例会における採決の結果

○賛成議員 ●反対議員

件名	結果	安部 朋次	小野 覚	難波 俊司	瀧尻 行雄	伊藤 好晴	永井 章	長島 正一	門 眞一郎	安部 誠也	石原 敏郎	熊谷 兼樹
平成22年度飯南町各会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めること（飯南町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町暴力団排除条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町公共下水道施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
八神農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度飯南町一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
平成23年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度飯南町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度飯南町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度飯南町病院事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H22町道松本頃原線道路改良工事（交付金）請負変更契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度町道松本頃原線道路改良工事（交付金）請負変更契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

陳情の採決結果

道路をはじめとするライフライン等、公共事業推進に関する要望	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水稻採種事業に対する要望	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【賛成討論】石原 敏郎 議員

反対討論の内容については、私も同じことを委員会で言っている。執行部はちゃんとしたりあわせをして、今後こういった訳のわからない処置をしてはならない。

しかし、それをもって一般会計補正予算全部を否定することは、いかがなものか。議会は、木を見て森を見ずという態度ではなく、俯瞰して大きな立場でものを見なければならぬことを申し上げ、賛成討論とする。

【反対討論】伊藤 好晴 議員

来島地区にLANを敷設する事業で、1000万円余の入札減が出たため、特別支援学級を担当する教職員のパソコンなど450万円余で、総務費として整備することだ。

小中学校で使用する機材は教育費にすべきであり、常識的に考えて理解できない。一方で、教育費として公共施設の雪下ろし費用100万円があるが、この予算こそ総務費に盛り込むべきだ。

事業には全く異議がないので予算の組み替えが行われていれば賛成したが、ルールにのっとった予算編成を強く求めて、反対討論とする。

平成23年度飯南町一般会計補正予算（第6号）

討論

議会活動報告（10月～12月）

10月

- 5日 議会広報編集委員会：一般質問要約
- 7日 議会広報編集委員会：委員会報告、紙面校正
- 11日 議会広報編集委員会：紙面校正
- 11日 庁舎問題調査特別委員会
- 12日 決算審査特別委員会：企画財政課、建設課
- 13日 決算審査特別委員会：産業振興課、住民課
- 18日 教育経済常任委員会
- 19日 決算審査特別委員会：保健福祉課、地域包括医療推進室、総務課
- 20日 庁舎問題調査特別委員会
- 21日 全員協議会
- 24～25日 議会広報研修会：東京都
- 27日 雲南広域連合議会議員研修会
- 27日 決算審査特別委員会：教育委員会、病院
- 29日 島根県種畜共進会
- 31日 雲南市・飯南町事務組合定例会

11月

- 2日 決算審査特別委員会：社会福祉協議会、飯石森林組合、ファーム木精
- 9日 決算審査特別委員会：トータルサポート、フロンティアあかざ
- 11日 島根県中央市牛共進会
- 16日 決算審査特別委員会：JA雲南、飯南町商工会
- 17日 教育経済常任委員会
- 22日 決算審査特別委員会：現地
- 22日 全員協議会
- 24日 決算審査特別委員会：まとめ
- 28日 雲南広域連合議会臨時会

12月

- 5日 議会運営委員会：議長諮問事項の協議
- 7日 議会運営委員会：12月定例会の提出議案、日程外の協議
- 7日 決算審査特別委員会：まとめ（最終）
- 13日 12月定例議会：本会議、町長行政報告、提出議案の説明、質疑
- 16日 〃：本会議、一般質問
- 19日 〃：委員会審査
- 20日 〃：委員会審査
- 21日 〃：委員会審査、全員協議会
- 22日 12月定例議会：本会議、討論、採決
- 27日 議会広報編集委員会：一般質問要約

決算審査特別委員会

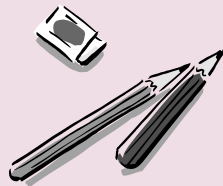
委員長

難波 俊司

第6回飯南町議会定例会において、本委員会が付託を受けた「平成22年度飯南町各会計歳入歳出決算」について審査し、認定することに決した。

1、審査の対象

- ◆平成22年度飯南町一般会計歳入歳出決算書および関係書類
- ◆平成22年度飯南町国民健康保険事業特別会計外7件の特別会計歳入歳出決算書および関係書類



は20%を超えることが予測されている。

今後繰り上げ償還を進めるわけであるが、庁舎建設の予定もあり、住民へのサービス低下にならないよう政策を精査し、予算編成にあたられたい。

【総括】

決算規模は合併初年度を除き、前年に続いて合併後2番目に大きくなっている。国の緊急経済対策、地方交付税の増加が影響しているが、その一方、町債の発行額も増えている。

実質公債費比率は平成22年度では15.9%まで低下しているが、23年度では18.0%と予測され、健全の目安である18.0%を上回ることが予想される。

単年度の実質公債費比率は、平成22年度16.6%、23年度で

動に移れるような仕組みを早急に確立されたい。

【職員の配置】

町内の90%を山林が占めているが、林業事務に係る職員は1名のみだ。職員の希望も含め、目的意識を持って、意欲がわくような適材適所の職員配置を求める。

【教育】

飯南町の小中学校教職員のへき地手当の格差をなくすことが必要である。特別支援教育サポーターも含め、町単独でしっかりと支援することが重要である。

【病院事業】

10対1の看護体制の導入により、スタッフの勤務状況は劣悪になっている。医師・看護師の恒常的な人員不足によるものが主因である。人員確保とともに看護助手を増員することも現況打開の手段である。

【未収金】

各種税・料金の滞納額は7432万円である。税外債権の回収についても特段の努力が必要である。

庁舎問題調査特別委員会

委員長 永井 章

委員会の目的である庁舎問題に関する調査・検討を基本とし、庁舎建設の是非から検討を行なった。

◆検討事項

- 1、庁舎建設の課題
- 2、財政の状況と課題
- 3、庁舎方式
- 4、庁舎に関するアンケート調査
- 5、支所機能の充実の課題と問題点

◆町民へ中間報告を全戸配布した。

◆以上の検討から、庁舎問題に関する調査検討報告をまとめた。

- 1、庁舎建設に対する是非 ……【賛否同数】
- 2、庁舎の方式 ……【本庁舎・支所方式が多数】
- 3、支所機能の充実 ……【庁舎建設の条件とする】



## 教育経済常任委員会

委員長  
門 眞一郎

### 飯南町公共下水道、八神農業集落排水処理施設、合併処理浄化槽の設置及び管理に関する条例の改正

現在公共下水道、八神農業集落排水施設、合併処理浄化槽の料金の徴収は水道料金の徴収月と同じ偶数月に行っているが、利用者の負担を平準化する目的で奇数月に変更する提案がされた。

利用者の負担を軽減する提案であるが、年金の支給月は偶数月と成っており、希望者には従来通りの支払方法を選択できるよう検討を促した。

### 一般会計補正予算

#### 地域交流促進事業 576万円(観光費)

道の駅赤来高原を改修するもので、全額借入金で行われる。

本町には多くの観光施設があり、そのすべてが指定管理によって運営されている。

指定管理料は年々減少していくよう営業努力されることが求められる。また、これらの施設の修繕費が増加傾向にあるが、本来は営業利益で行うべきものだ。

類似施設すべての営業を継続すべきか考える時期が来ている。修繕費は基金の利用なども考慮し、中長期的視野に立ち、計画的に進めるべきだ。

#### 頓原小学校等の雪下ろし予算 100万円

(教育委員会：事務局臨時管理費)

本来なら町有財産臨時管理費として考えるべきである。



頓原小学校



杉戸浄水場

### 飯南町簡易水道事業特別会計補正予算、飯南町下水道事業特別会計補正予算

上下水道は施設修理、ポンプ等の更新費用の増加が予測されている。需要、修繕、管理などの計画をきちんと立て、これに見合う料金の設定を行う必要が考えられる。

水道の新設負担金は10万円になっている。今後、上水道の本管からかなり距離のある場所へ家屋の新築などが想定されるが、一定の規律は必要であり、検討を要する。



道の駅あかぎ高原

### その他

#### 畜産振興

本町の飼養頭数減少により、単独ブランドの維持が困難とし、雲南農振協の一員として奥出雲和牛ブランドで販売しているのが現状だ。

本町として、繁殖牛300頭規模が維持できればブランド化は可能と言われている。あくまで単独ブランドにこだわり、300頭規模を確保するため、飼養者の人件費を町が負担するくらいの意気込みをもって振興策に取り組むべきだ。

【参考】子牛出荷頭数：21年度／270頭・22年度／223頭・23年度／200頭(現時点の予測)

## 総務厚生常任委員会

委員長  
長 島 正 一

### 一般会計補正予算

予算規模の縮減が予想され、次年度に向け慎重な予算編成が望まれる。

#### 自治集会所建設費補助金 27万円(自治振興費)

三日市集会所の増築要望に対して事業費の20%を補助するものだが、この施設は指定管理者制度に基づいており発言が相次いだため、予算特別委員会に審査意見を付した。

#### 医療従事者確保対策事業 100万円(保健衛生総務費)

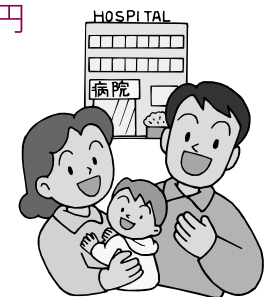
医療従事者確保対策事業の確定により210万円の不要額が出た。このうち100万円は就業支度金として、看護師不足の緊急対策に充てる。

三日市集会所



### 飯南町病院事業会計補正予算(第3号) 3,235万円

主な収入は、入院・外来患者増による増額補正で、材料費・経費・研究研修費の増加に対応する。経営の改善傾向は顕著であり、病院スタッフ一丸となった努力がみられる。一方、就労環境は厳しさを増しており、早急な対策が望まれる。



#### 審査意見(案)

次の2件に付、意見書を予算特別委員会に付した。

#### 自治集会所建設費補助金 27万円

経常管理費を行政負担している自治集会所と、負担していない自治集会所があり、不公平感を住民が抱いている。公平性が担保できる指定管理者制度にするよう検討すべきである。

#### 高齢者世帯等住宅緊急除雪費 300万円

総合的雪対策としての補助制度の創設は評価できるが、運用面で不都合を生じることが懸念される。個々の置かれている状況が多様化している中、一律の基準が新たな住民間の不公平感を生む可能性もあるので、自治区・自治会等と十分な連携を図り、実施する必要がある。



飯南病院



明日を拓く

# 林業を担う人材を育てる

島根県立農業大学校  
宇山教授に聞きました。



島根県立農業大学校 森林管理科  
教授 宇山 由夫 さん

問 林業科の魅力は

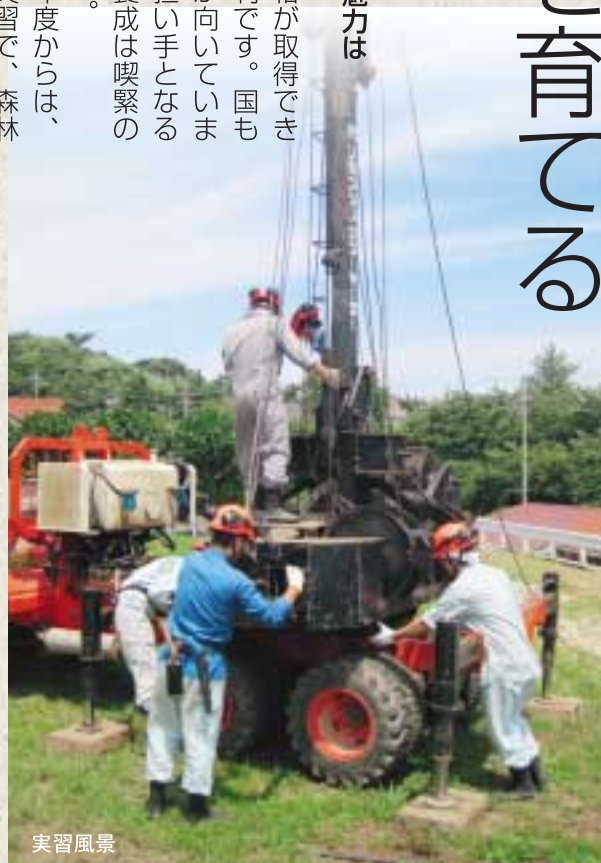
答 多くの資格が取得でき就職に有利です。国も林業再生に目が向いていきますので、その担い手となる林業従事者の養成は喫緊の課題になります。

そこで、24年度からは、2年次の専攻実習で、森林プランナーコースと森林エンジニアコースの選択制を設け、充実した現場実習に重点を置いた授業を実施します。これによって、林業現場で必要とされる人材育成を目指します。

問 学校の抱えている課題と、町や地域への要望は

答 林業科が飯南町に拠点を移してから6年余が過ぎますが、飯南町からの入学生がいません。私達の努力不足もあると思いますが、飯南高校との連携に力を入れたいと考えていますので、協力をお願いします。

学生も地域との関わりを希望していますので、産直市等へ林産物（原木しいたけ等）を出荷・販売、イベントへの出店も出来ればと考えています。



実習風景

また、学生に適した実習現場が、中山間地域研究センターのただけでは不足しています。特に、2年次の9月に行う3週間の体験実習は、地元へ受け入れ可能な事業体が少なく、その確保に苦心しています。このようなことも、地元行政や地域の方との連携で解決できればと思っています。

多くの町民の方に、中山間地域研究センターに農林大学校林業科があることを認知して頂き、その運営にご協力賜りますようお願いいたします。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春を迎えられた事と心からお喜び申し上げます。

昨年は全国で大災害に見舞われ、本町でも昭和38年に次ぐ豪雪となり、大きな被害を受けました。また、3月の福島原発事故による汚染稲わらにより、本町の畜産は大きな打撃を受けました。飯南町議会としても畜産が衰退しないよう、振興に本腰を入れて取り組まなければなりません。

議会報は議会の様子を皆様にお知らせするため年4回発行しています。ぜひご愛読いただき、議会報に対する皆様からのご意見ご感想をお寄せください。

寒さはまだまだ続きますが、やがて春が来ます。中国山地の真つただ中、自然豊かな飯南町で生産された農産物をしっかり売り込みましょう。

この一年が皆様にとりまして幸多い年となりますようお祈り申し上げます。

議会広報編集委員会

難波 俊司

問

農業大学校の校名が来年度から変わるそうですが

答

県の条例改正により平成24年4月1日から農林大学校林業科として、教育課程の充実を図ります。

「林業科」は西日本唯一の課程ですが、知名度が十分でなく、学生の確保に苦労しています。県民の方に、県の林業に対する姿勢を明確に示すことによって、多くの学生が応募してくれることを期待しています。

